

# 上上津里づくり計画



平成 29 年 11 月

上上津里づくり協議会

## 目 次

I	地区の現況と目標	
(1)	地区の現況と課題	1 ページ
(2)	計画目標と方針	2
II	里づくり計画	
1	農業振興計画	
(1)	生産営農組織の拡充	2
(2)	生産調整への取り組み	3
(3)	新規作物の導入	3
(4)	荒廃農地対策	3
(5)	農業用水対策	3
2	環境整備計画	
(1)	ゴミ対策	3
(2)	騒音対策	3
(3)	里山の利活用	3
(4)	大歳神社境内周辺の保全	3
(5)	地域づくり活動	3
(6)	集落行事・生活慣習の改善	4
3	土地利用計画	
(1)	農村用途区域の変更	4
(2)	個別的土地利用計画	4
4	景観の保全及び形成に関する計画	
(1)	農村景観	4
(2)	歴史的景観	4
5	計画地区と市街地との交流に関する計画	
(1)	直売所の設置検討	4
(2)	体験農業、観光農業等を通じた交流計画	4
(3)	近隣団地自治会組織等との交流	4

# 上上津里づくり計画

## I 地区の現況と目標

### (1) 地区の現況と課題

- ① 当地区は、平成10年4月1日に設立（市認定平成10年6月26日）された別図の上上津里づくり協議会（上上津集落）の区域とする。
- ② 市街化区域に隣接する市街化調整区域に位置し、神戸リサーチパーク赤松台、神戸リサーチパーク上津台の2団地に接しており、今後両団地で急速な人口増が見込まれる。また、地区の北側には、三田市のフラワータウンがある。
- ③ 当地区内を主要地方道西脇三田線、山田三田線のほか、中国自動車道・六甲北有料道路が通過し、神戸三田インターチェンジがある。
- ④ 神戸電鉄三田線の道場駅へは車で7分、横山駅へは5分の位置にある。
- ⑤ 市中心部の三ノ宮まで車で40分、公共交通機関として神戸電鉄・神姫バス等がある。
- ⑥ 1995年国勢調査及び農業センサスによれば  
農家人口（232人）は集落人口（400人）の58％、農家戸数（49戸）は総世帯数（118戸）の42％、農家世帯の構成は、専業農家3戸（6％）、第1種兼業農家5戸（10％）、第2種兼業農家41戸（84％）となっている。
- ⑦ 農業経営は、1戸当たり平均70アールの農地を保有しており、農業機械保有台数はトラクター41台、耕耘機23台、田植機38台の状況となっている。
- ⑧ 集落の農業生産についてみると、酒米「山田錦」、うるち米「キヌヒカリ、コシヒカリ」、「大豆」、「南瓜」、「西瓜」等があるが、大半が水稲である。
- ⑨ 平成12年産水稲から兵庫六甲農協のカントリーエレベーターが稼働したことに伴い、今後これの活用が課題である。
- ⑩ 近くの住宅団地（神戸リサーチパーク上津台）、企業団地（神戸リサーチパーク赤松台）を対象とした観光農業や、貸農園、野菜直売所の開設等が課題である。

	総世帯数 (戸)	総人口 (人)	専業別農家数 (戸)				農家 人口 (人)	農業従事形態世帯数(男)			農業従事形態世帯数(女)		
			総農家数	専業	第1種 兼業	第2種 兼業		自家農業のみ	自家農業が主で、兼業が従	自家農業が主	自家農業のみ	自家農業が主で、兼業が従	自家農業が主
85年	254	1,404	61	3	18	40	284	18	13	59	55	6	17
90年	266	1,396	54	3	8	43	268	16	3	54	30	1	29
95年	264 (上上津) (118)	1,408 (上上津) (400)	49	3	5	41	232	22	4	48	38	7	17

	経営耕地面積 (a)				主要作物別収穫面積 (a)				家畜飼育戸数・頭数			
	合計	田	畑	樹園地	稲	野菜	花	飼料作物	乳用牛戸数	牛頭数	肉用牛戸数	牛頭数
85年	4,485	4,437	48	-	3,774	64	-	-	1	28	2	13
90年	4,041	3,912	29	100	2,751	159	-	183	1	5	1	5
95年	3,583	3,403	170	10	2,873	45	-	376	1	43	-	-

(2) 計画目標と方針

当地区の活性化のため、市街化区域の神戸リサーチパーク赤松台・上津台の2団地に接し、また、三田市のフラワータウンに近い等の地の利を活かした里づくりを進める。

具体的には

- ① 区民との交流を広げ、開かれた里づくり  
直売所，市民農園づくり，大歳神社の祭礼など。
- ② 子供・孫がそこを離れたくなくなる里づくり  
自然環境・住環境の充実，田畑，風景，神社，さなぶり等ムラ行事
- ③ 農業生産コストの大幅ダウンを目指す里づくり  
「入る」を図るより，「出る」を制する方法で。
- ④ そこに住む各人がそれぞれの立場で生活を楽しめる里づくり

キャッチフレーズとしては

「住民のみんなが生きがいのある生活を目指すまち・上上津」  
ー子供・孫がそこに住みたくなくなる里づくりー とする。

II 里づくり計画

1 農業振興計画

(1) 集落営農組織の拡充

平成12年産水稻からJA兵庫六甲農協のカントリーエレベーターが稼働したことに伴い、神戸北農作業受託部会が組織され、今後の活動が期待されるが、当面は、農用地利用改善団体「上上津農会」を中心に活動し、農業機械の過剰投資の回避を図っていく必要がある。このため、農業機械の更新時期と上上津農会への農業機械の移転について調査・研究し、将来的には、集落一農場への移行を検討する。

(2) 生産調整への取り組み

当地区は、平成11年度まで集団転作（畜産複合型）に取り組んできたが、平成12年度の助成制度に適合しなくなったので、今後は、新たな集団転作等への取り組みを検討していく。

(3) 新規作物の導入

他地区と協調しながら「そば」を栽培・製品化し、キリンビール神戸工場、神戸市立フルーツ・フラワーパーク等での販売を検討していく。

(4) 荒廃農地対策

ほ場整備済農地において荒廃地はないものの、谷間の未整備農地において原野化したものが若干あるので、今後、これら農地を活用して観光農業、貸農園等の設置を検討する。

(5) 農業用水対策

例年、当地区の農業用水が不足気味であり、これの確保に苦慮しているので、他地区との統合策等について協議検討する。

2 環境整備計画

(1) ゴミ対策

ゴミのクリーン作戦については、自治会、婦人会等によって定期的に実施しているが、雑草が繁茂した道路端なり、不法投棄禁止看板の近くへ粗大ゴミ（ふとん）、残飯等を放棄する傾向が強まっているので、これの対応策を市に要望する。

(2) 騒音対策

深夜、周辺開発によって整備された道路において、オートバイによる集団暴走行為による騒音に悩まされており危険も伴うので、関係機関に改善策を申し入れる。

(3) 里山の利活用

森林組合が所有する里山を福祉施設等へ利活用することによって、地域の活性化が期待できるので、これの活用策を検討する。

(4) 大歳神社境内周辺の保全

自然環境に恵まれた当地域は、近年の周辺開発に伴い大きく変貌してきたが、当神社周辺は、我々の努力によって昔ながらの景観を保ってきた。今後とも文化財として保全につとめていく。

(5) 地域づくり活動

大歳神社の祭礼のほか集落の諸行事の伝承はもとより、自治会・農会・婦人会・老人会等の活動をより一層拡充強化していく。

(6) 集落行事・生活慣習の改善

集落には、先人から引き継がれてきた数多い行事，生活慣習があるが，これら行事・慣習についての改善策を検討していく。

3 土地利用計画

(1) 農村用途区域の変更

現在は、農業保全区域と環境保全区域に指定されているが、神戸三田インターチェンジ（六甲北有料道路・中国自動車道）に隣接する環境保全区域の一部（約 2.4㌔）を大規模流通業務施設として特定用途B区域（別図）に変更する。

(2) 個別的土地利用計画

① 公共的施設用地

② 活性化のための施設用地

4 景観の保全及び形成に関する計画

(1) 農村景観

地域内道路・農業用水路・河川の清掃に加え，これらへ桜・柿等の植樹を検討する。

また，農地（畦畔）・法面を活用して景観作物のひまわり・コスモス等を栽培して地域の美観に配慮する。

(2) 歴史的景観

大歳神社・蓮華寺を歴史的文化財として守り，農村風情のある集落景観を保全していく。

5 計画地区と市街地との交流に関する計画

(1) 直売所の設置検討

- ・ 米の生産調整に対応し，農産物の生産体制の確立を図るとともに，地域の高齢者・婦人層を中心として神戸リサーチパーク上津台・赤松台の住民・企業を対象とした野菜直売所の開設を検討する。
- ・ また，茶臼山城跡（上津城）一帯は，都市基盤整備公団によって，神戸リサーチパーク上津台の公園区域として位置づけられ，多くの団地住民等の憩いの場としての整備計画があるので，現段階からこの交流計画に取り組む。

(2) 体験農業，観光農業等を通じた交流計画

田植・稲刈り・いも掘り等を通じた交流計画を検討する。

(3) 近隣団地自治会組織等との交流

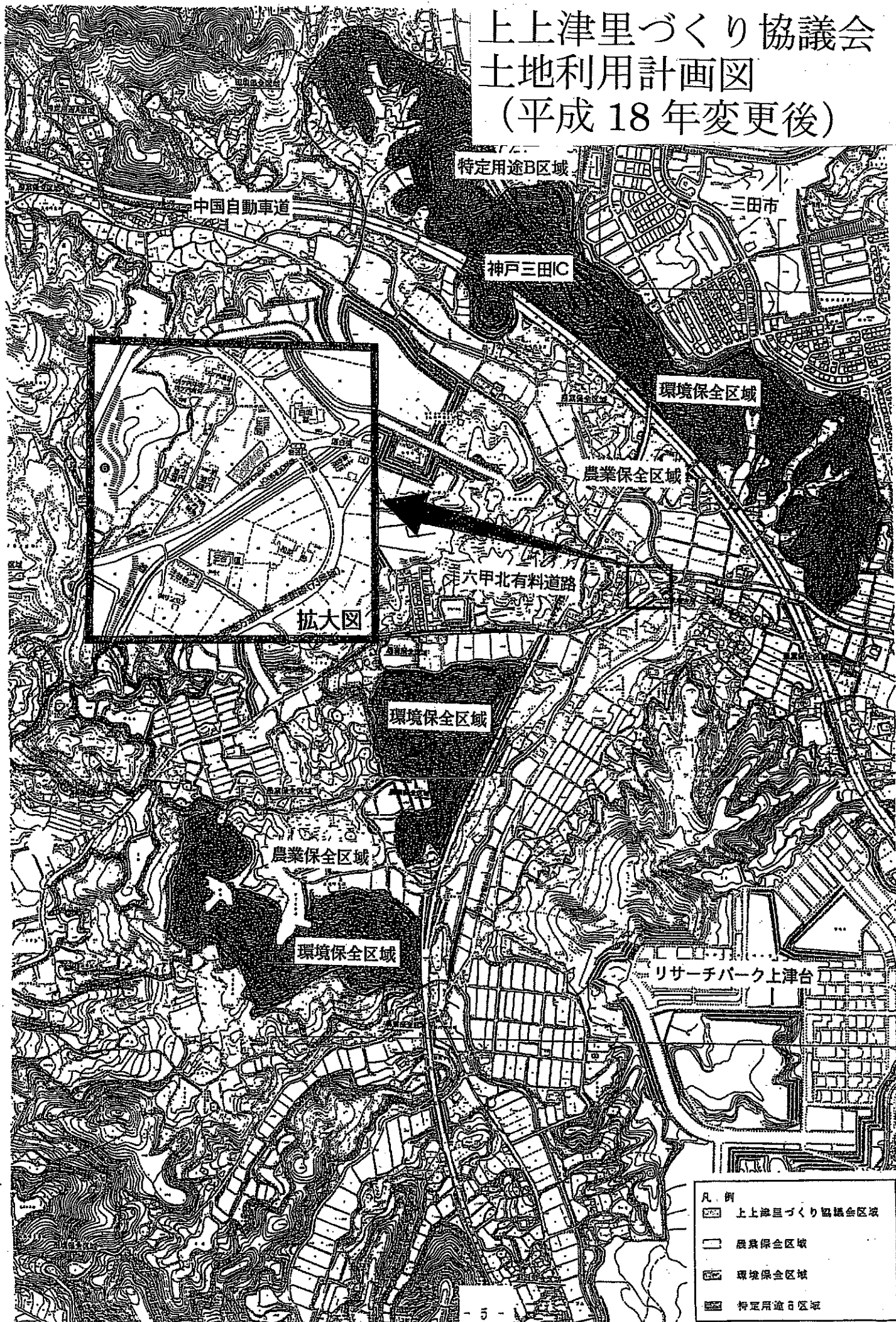
近隣団地の自治会組織等との交流を推進し，それぞれの行事内容について意見交換し，相互交流を通じて地域の活性化を図る。





# 上上津里づくり協議会 土地利用計画図



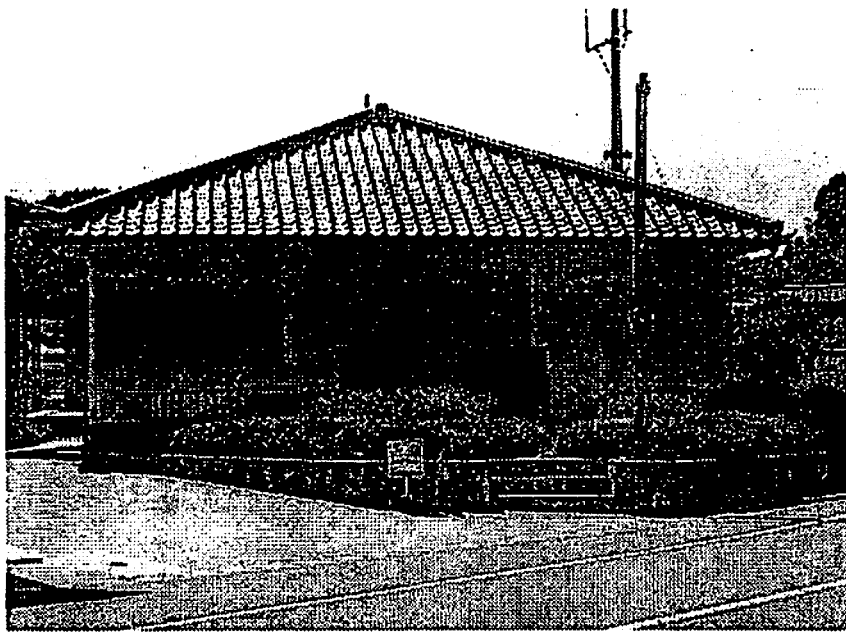
- 凡例
- 上上津里づくり協議会区域
  - 農業保全区域
  - 環境保全区域
  - 特定用途B区域

# 上上津里づくり協議会 土地利用計画図 (平成18年変更後)

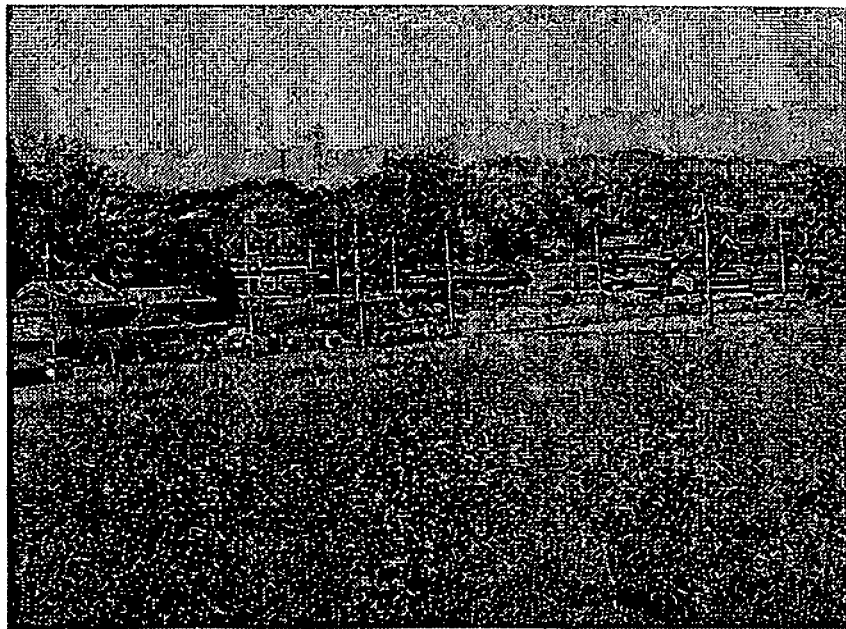


- 凡例
-  上上津里づくり協議会区域
  -  農業保全区域
  -  環境保全区域
  -  特定用途B区域

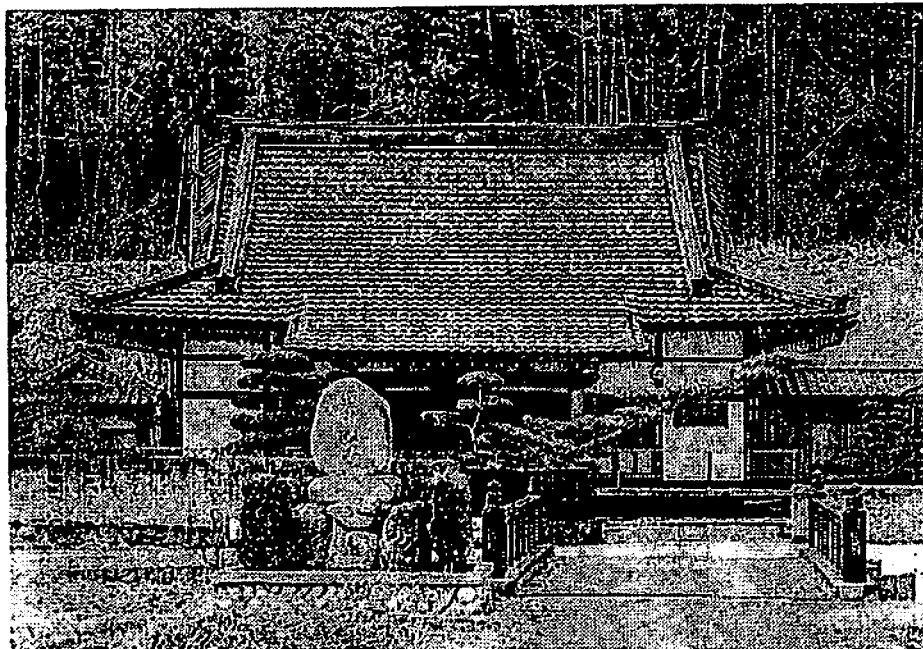




上上津集会所



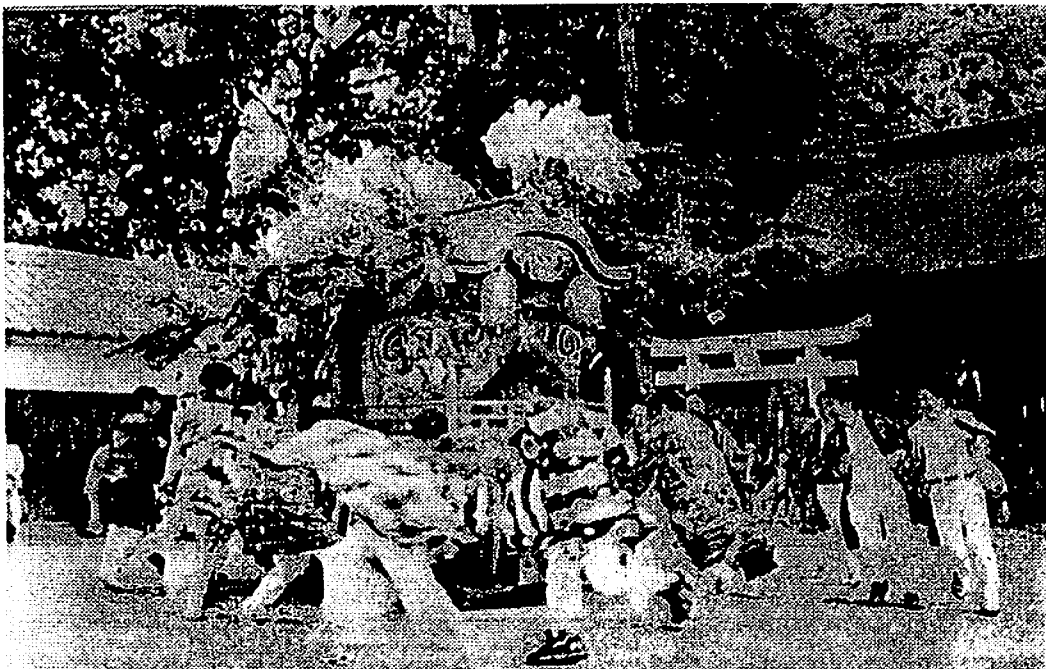
上上津集落風景



蓮華寺



秋祭り（子供会）



秋祭り（上上津親睦会による山車）

# 上上津里づくり計画策定経過

助言者：高橋 信正

年月日	実施内容	参集者
平成12年6月11日	・ 里づくり計画策定事前調整会議	協議会役員
平成12年7月16日	高橋教授を迎え里づくり計画策定に向けて活動開始 ・ 里づくり計画策定推進調整会議 集落の現状把握のため現地調査を実施 集落座談会の開催	協議会役員等
平成12年9月2日	・ 集落の現状 課題の整理 ・ アンケート調査について	協議会役員他
平成12年9月20日	・ 営農専門部会のあり方について検討	専門部会委員
平成12年11月4日	・ 里づくり計画の骨子 ・ 専門部会の活動状況 ・ アンケート調査項目の検討	協議会役員他
平成12年11月下旬	・ アンケート調査の実施	協議会構成員
平成12年12月10日	・ アンケート調査の回収	協議会構成員
平成13年2月15日	・ トラクターミナルに係る説明会	協議会役員他
平成13年2月17日	・ 里づくり計画（素案）の検討 ・ アンケート調査結果について	協議会役員他
平成13年3月24日	・ 里づくり協議会総会 里づくり計画決定の件	協議会役員他

「上上津里づくり計画」のⅡの3の(2)の「②活性化のための施設用地」を次のように変更する。

② 里づくりの拠点施設

地域の活性化に資する施設として里づくりの拠点施設を整備する。

集落の北西部に位置する奥町家（空き家）を「里づくりの拠点施設（里づくり協議会が主体となって建築・運営するもの）」として整備し、上上津集落の活性化を目指す。

所在地及び面積	神戸市北区長尾町上津 3519 番地 奥町家 面積 872.7 m <sup>2</sup>
運営主体	上上津里づくり協議会及び特定医療法人寿栄会
施設の用途	<p>①地域住民の福祉・健康増進に資する施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の健康増進スペース（各種健康教室、出張診察室、定期開設の健康診断・健康相談所等）</li> <li>・地域住民の研修スペース（各種カルチャースクール等）</li> <li>・地域住民の娯楽スペース（カラオケ大会、お月見コンサート等）</li> </ul> <p>②都市住民や地元企業・団体と地域住民の交流に資する施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種交流イベント開催スペース（都市住民や長尾町所在の企業等との会議、茶話会、懇親会等）</li> <li>・ゲストハウススペース（夏祭り、秋祭り等の招待者の接待・休憩・宿泊所）</li> <li>・情報提供スペース（長尾町の歴史、アミノドン等）</li> <li>・休憩スペース（オープンカフェ、喫茶、軽食）</li> </ul> <p>③地域住民の一時退避施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が発生した場合やそのおそれがある場合の地域住民の一時退避スペース（避難所開設の前段階）</li> </ul> <p>④地元特産物等の供給施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農産物の販売スペース（定期的な朝市等の開催）</li> </ul> <p>⑤その他農業の振興、農村の活性化に資する施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会室（会議、婦人会・福寿会等の趣味・クラブ活動、ふれあい喫茶等に使用する。）</li> </ul>
建築物の概要	<p>①大正時代に建築された古民家の景観・外観は維持しつつ、用途に機能的に適合するよう内部については必要最小限の改修を行う。</p> <p>②屋外表示看板及びデザインについては、周辺環境に配慮したも</p>

	<p>のとする。</p> <p>③ 駐車場については、施設の規模及び用途に応じた適切な規模の駐車場の確保に努める。施設周辺における円滑な交通流を阻害しないよう、安全に支障をきたすことのないよう計画する。</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>施設の管理責任は特定医療法人寿栄会が負うものとする。</p>

## 土地利用計画への里づくり拠点施設の位置付け

